

# 予算執行は行政効果をあげたか

## 平成18年度 決算審査

第19回定例会の初日に、決算審査の経過並びに結果について決算特別委員長が報告を行い、その後、委員長報告に対する質疑、討論を経て、一般会計及び国民健康保険事業、老人保健事業、介護保険事業、簡易水道事業、水道事業の各特別会計歳入歳出に係る会計6議案の決算認定については賛成多数で、国民健康保険診療所事業、鷹巣診療所事業、下水道事業、農業集落排水事業、地域生活排水事業、病院事業、農業共済事業の7議案については全会一致で認定されました。決算特別委員会で審査の過程において出された主な質疑並びに答弁の状況を紹介します。

### 決算特別委員会

委員長	岡崎久和
副委員長	山下由美
委員	木藤幹雄
"	田淵基次
"	岡前治生
"	東 豊俊
"	北川清司
"	高山政信
"	大上正司
"	松井 甫
"	千原生造
"	田中鶴雄

### 審査日程

10月16日(火)	総務部、企画部
10月17日(水)	消防本部、土木部、教育委員会事務局
10月22日(月)	総合病院、福祉部
10月23日(火)	産業部、水道局、会計課
	議会事務局、監査委員事務局
	公平委員会事務局

**問** 税の滞納徴収について総合的に対応すべきである。

**答** 滞納整理検討会の立ち上げもしている。実情は徴収の根拠、滞納処理の際の説明責任など専門性の問題もある。

**問** 一般会計の歳出で22・2%は人件費で、2・86%が時間外手当とうかがったがその率は妥当か。

**答** 17年度は合併当初で時間外勤務が多かった。予算配当の部分で周知し、18年度は28%減となった。19年度は昨年の予算の10%減を目指している。

**問** 小学校費、中学校費、学校給食費について特に流用が多い。流用の最小限は認めるが、流用が多くなると当初予算の議会議決に反する。

**答** 議決をいただいたものを的確に執行している。今後はこちらのように対応していきたい。

**問** これからの総合病院の見通しを聞きたい。

**答** 19年度についても非常に厳しい見通しである。原因は医師不足による入院患者の確保ができない。根本的な解決法は、人員を

確保し、病床稼働率を上げることである。そのことが地域住民のニーズに応えることになる。やはり機能低下させないで、維持向上に努めながらやっていくことが医師確保につながる。

**問** 国保と介護保険の特別会計で不納欠損と収入未済があるが、特に介護保険で普通徴収分がいくら含まれているか。

**答** 全額普通徴収分、それぞれ保険料が上がったわけだが、これまで保険料が少なかった時と同じ方なので、保険料が上がり負

担感が大きいのが、それによって新たな方が特に増えたという認識はしていない。

**問** 県産木材供給センターが出来ることが生産森林組合、個人の森林所有者に環境対策育林事業をPRする必要があるのではないか。

**答** 今年度森林施設計画の直し時期であり、新たに交付金の事業がスタートしている。農林、森林組合、市と旧町単位で説明会をしている。材の安定供給のためにも大いにPRしたい。

されているが、今後の消防団のあり方は。

**答** 消防団の調整に関するもので、具体的に4分団について統一することには了解を得ている。個々の分団、機動分団、組織の関係、団員数、装備数など含めて考えている。



出初め式